



公衆衛生大会の席上で速報を説明する上田センター長

それでは、集まつた  
カードのデータから、  
今年度の電気使用量に  
ついて報告します。

空調の工夫が使用量の削減へ

### 削減の要因

要 因	削減人数
家電製品を買い換えた	470人
照明で工夫をした	400人
空調で工夫をした	790人
その他	669人

## 増加の要因

要因	増加人数
子や孫の帰省があった	204人
家にいることが多かった	274人
暑かった	657人
その他	102人

## 大会宣言

私たち公衆衛生推進委員は、積み重ねられた歴史の中で、行政や他団体と協働しつつ、自主的・組織的なコミュニティ活動をとおして、公衆衛生思想の普及向上に努めてきました。また、地球温暖化やごみ問題、生活習慣病の増加など、深刻かつ緊急を要する課題は SDGs の 17 の目標として世界共通の課題となっています。

昨年の7月豪雨災害では広島県内で多くの被害が発生し、今年も台風15号及び19号は全国で甚大な被害をもたらしました。今後、起こうとする災害に対して、私たち住民組織は、災害支援に向けた役割を果たすことが求められています。この役割を明確にすることで公衆衛生の向上につなげることが重要な活動テーマとなります。

うなりることが重要な活動テーマとなります。  
私たちは地域の課題に積極的に対処しながら、人々がより快適で健やかに暮らせる活力あるコミュニティの実現をめざし、これまでにも増して地域のリーダーとして機能を発揮する必要があります。

そこで、『健やかな暮らしをつくる人々の集い』をテーマに開催するこの大会を契機に、次の7つの項目について、より積極的・効果的に取り組む決意を示し、地域リーダーや関係者一同の情熱と知恵と行動力を結集し、その実現に向けて邁進することを宣言します。

- 一、防災・減災・復興に活かす公衆衛生活動の推進
  - 一、生活空間の美観の確保と快適な環境づくりの推進
  - 一、住民・行政・事業者の連携による脱温暖化のまちづくりの推進
  - 一、生活習慣の見なおしと実践活動による健康づくりの推進
  - 一、ごみ減量に向けた3R<sup>スリーリー</sup>（リデュース・リユース・リサイクル）の推進
  - 一、世代を超えた健康学習・環境学習の推進
  - 一、上記の2つの項目を実現するためのコミュニティ組織の強化

令和三年11月31日

卷之三十一

## アトラクション 太鼓ユニット「我龍」リー

